

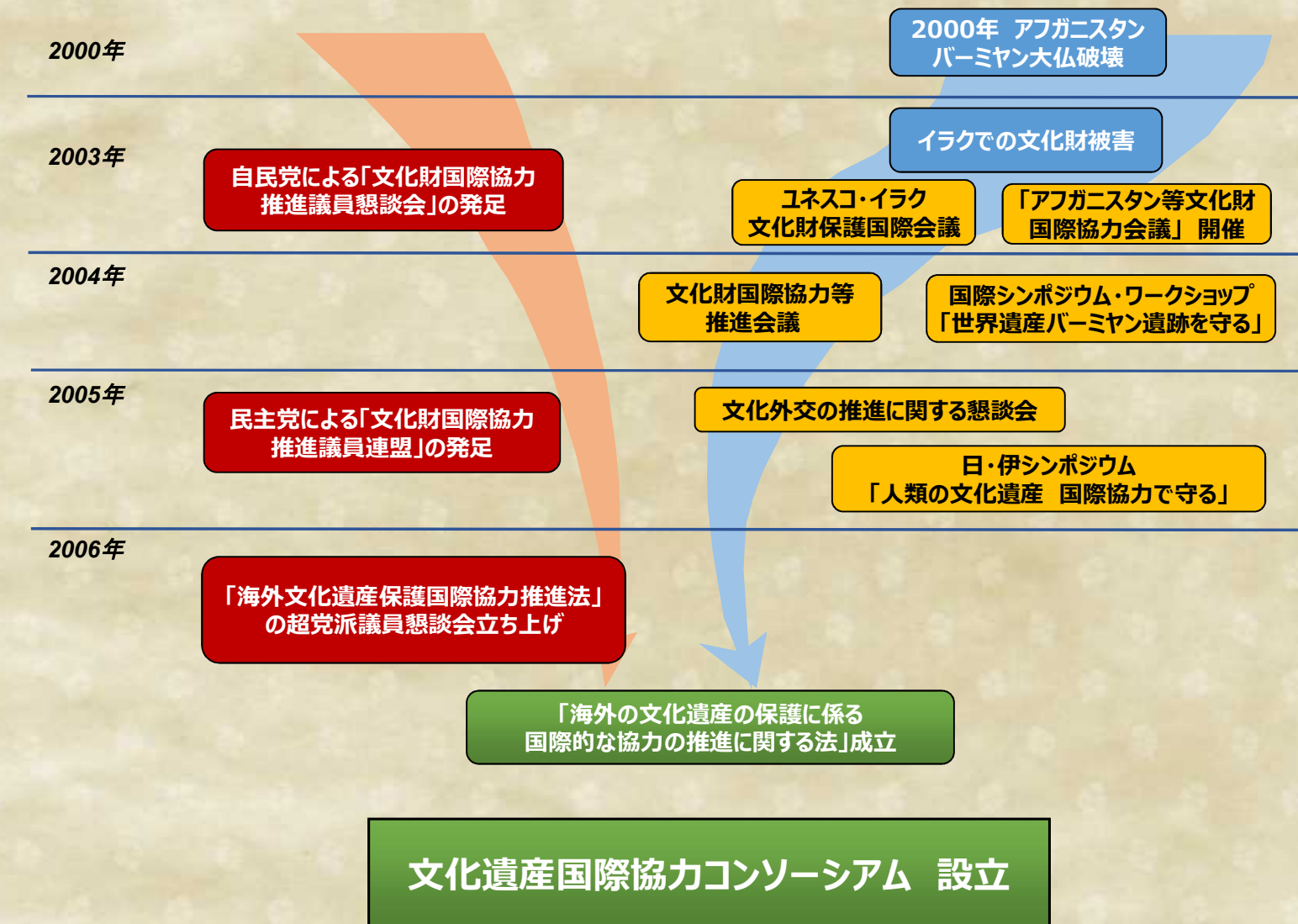


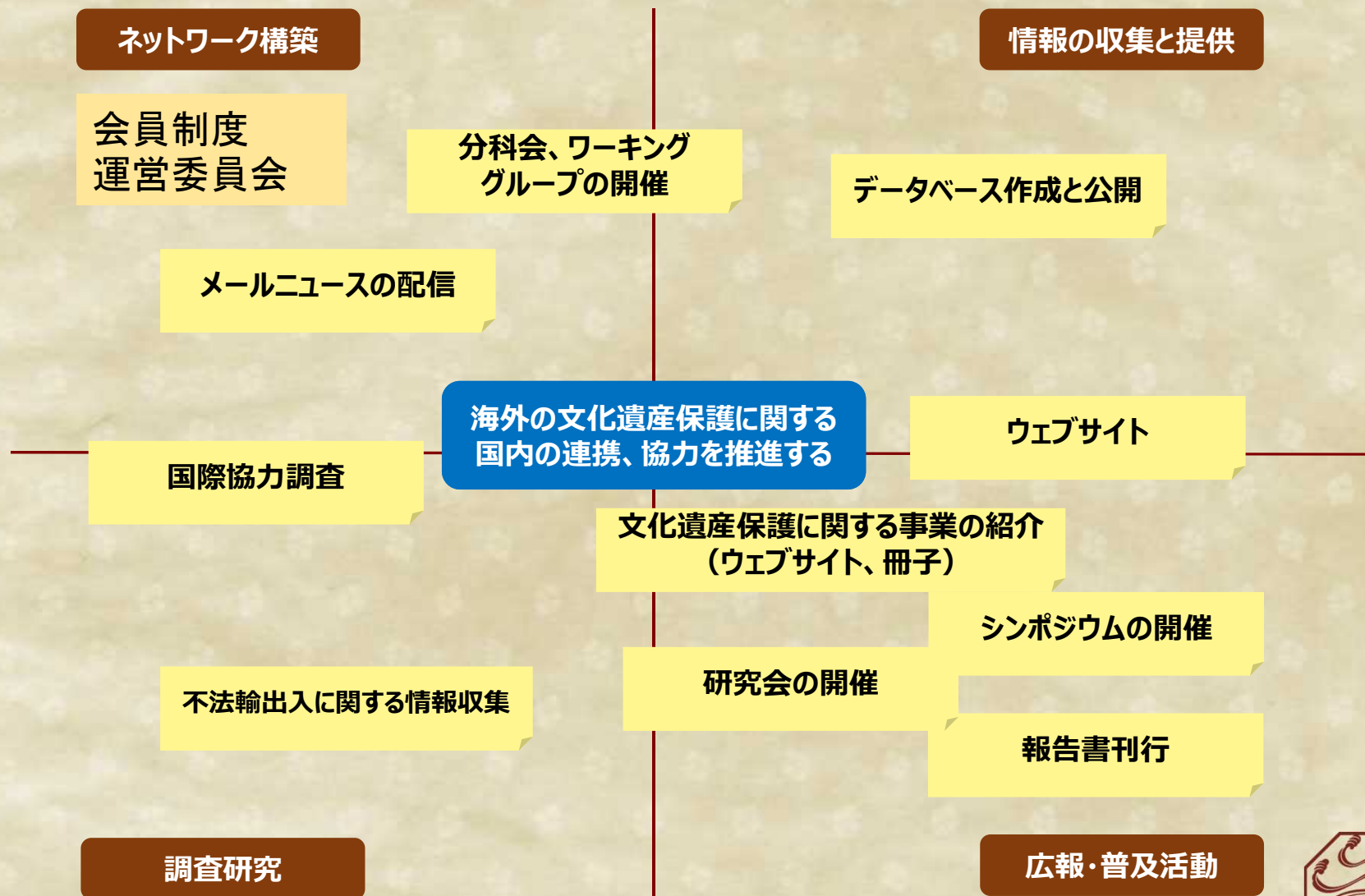
文化遺産国際協力コンソーシアム とは

Japan Consortium for International Cooperation
in Cultural Heritage (JCIC-Heritage)

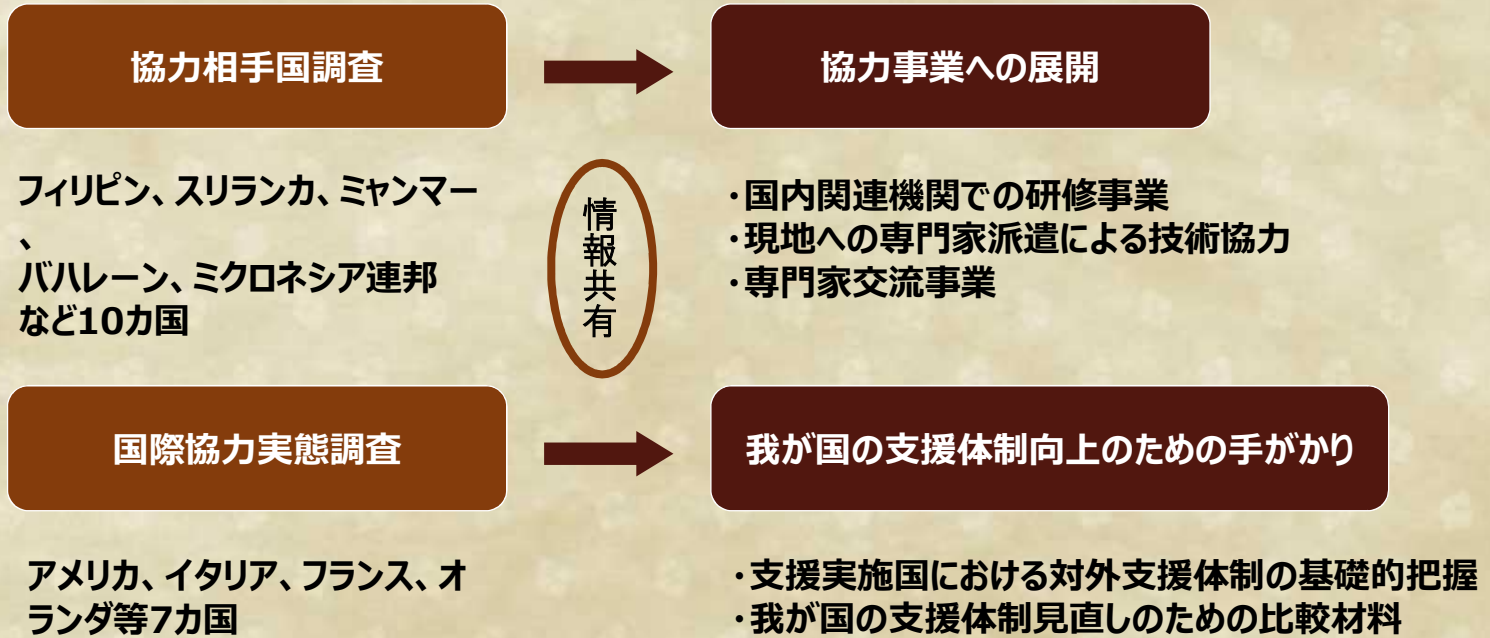
〒110-8713 東京都台東区上野公園13-43
独立行政法人 国立文化財機構 東京文化財研究所内
Tel : 03-3823-4027
<http://www.jcic-heritage.jp>

コンソーシアム設立の経緯





協力相手国調査、調査事業の支援



研究会の開催

第18回
文化遺産国際協力
コンソーシアム研究会

文化遺産 国際協力の今

文化遺産保護の国際動向

文化庁長官
青柳正規
Aoyagi Masanori

関雄二
Sekiyu

刈谷勇雅
Kariya Yuga

西藤清秀
Saito Kiyohide

2016.3.3(木) 13:40-17:00 (開場13:30)

会場：東京文化財研究所 セミナー室

入場無料 【申し込み制】 定員110名

<http://www.jcic-heritage.jp/form/form.cgi>

文化遺産 危機の中

文化遺産保護の国際動向

危機の中の文化遺産
2016.11.25(木) 13:00-17:00 (開場13:30)

入場無料 【申し込み制】 定員100名

会場：東京文化財研究所 セミナー室

<http://www.jcic-heritage.jp/form/form.cgi>

文化遺産保護の 国際動向

2015.3.2月
13:30-17:00 (開場13:30)

東京文化財研究所
セミナー室

プログラム

13:30-13:45 開会挨拶

13:45-14:00 報告

14:00-14:15 報告

14:15-14:30 報告

14:30-14:45 報告

14:45-15:00 報告

15:00-15:15 報告

15:15-15:30 報告

15:30-15:45 報告

15:45-16:00 報告

16:00-16:15 報告

16:15-16:30 報告

16:30-16:45 報告

16:45-17:00 閉会挨拶

17:00- 終了

会場：東京文化財研究所 セミナー室

入場無料 【申し込み制】 定員110名

<http://www.jcic-heritage.jp/form/form.cgi>

文化遺産管理における 住民参加

2014年6月27日(金) 13:30～17:00 (開場13:30)

会場：大阪国際交流センター 小ホール

主催：文化遺産国際協力コンソーシアム

協賛：大阪府立博物館

報告者

中谷のローレンスは、世界の各地に点在する文化遺産をめぐり、現地住民と協働して文化遺産を保護・管理する取り組みについて報告する。中谷は、文化遺産の保護・管理は、単に文化遺産そのものを保護・管理するだけでなく、その地域住民の生活と文化遺産を結びつけることが重要であると述べている。中谷は、文化遺産の保護・管理は、単に文化遺産そのものを保護・管理するだけでなく、その地域住民の生活と文化遺産を結びつけることが重要であると述べている。中谷は、文化遺産の保護・管理は、単に文化遺産そのものを保護・管理するだけでなく、その地域住民の生活と文化遺産を結びつけることが重要であると述べている。

プログラム

13:30-13:45 開会挨拶

13:45-13:59 報告

13:59-14:13 報告

14:13-14:27 報告

14:27-14:41 報告

14:41-14:55 報告

14:55-15:09 報告

15:09-15:23 報告

15:23-15:37 報告

15:37-15:51 報告

15:51-16:05 報告

16:05-16:19 報告

16:19-16:33 報告

16:33-16:47 報告

16:47-17:01 閉会挨拶

会場：大阪国際交流センター 小ホール

入場無料 【申し込み制】 定員110名

<http://www.jcic-heritage.jp/form/form.cgi>



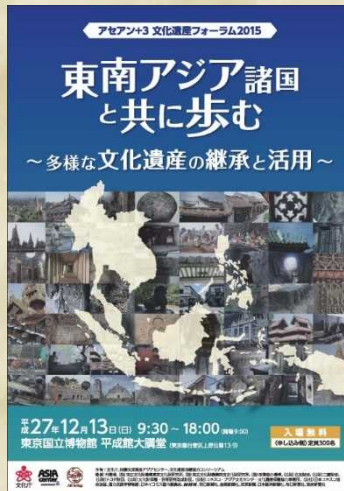
＜過去の研究会テーマ＞

- ・文化遺産保護の国際動向
- ・危機の中の文化遺産
- ・文化遺産管理における住民参加



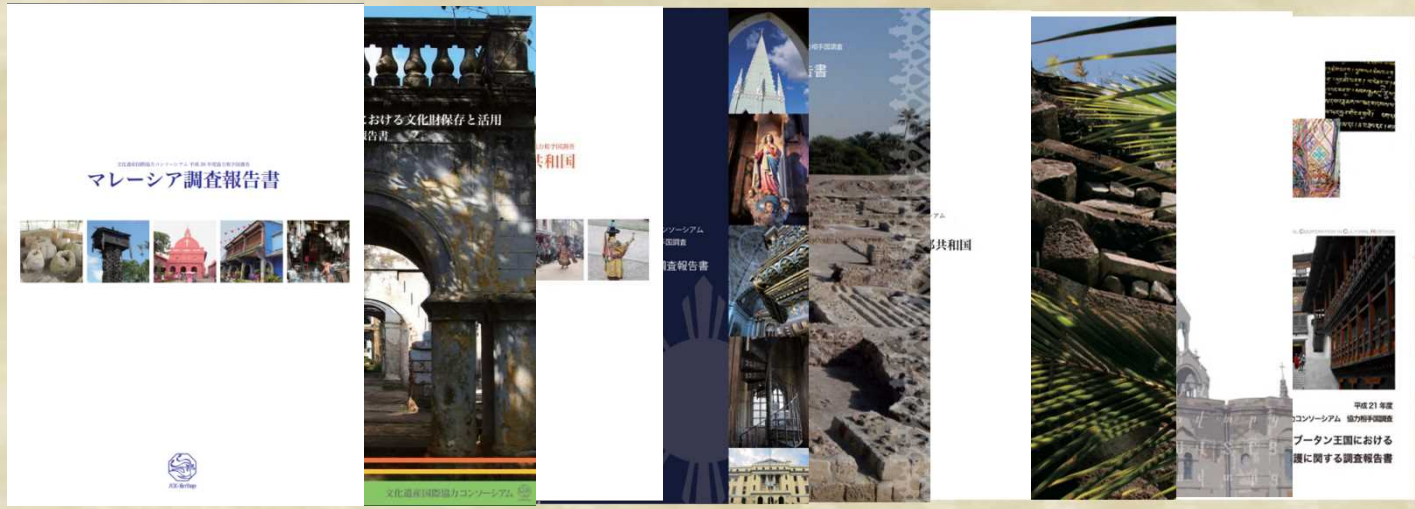
JCIC-Heritage

シンポジウム・フォーラムの開催



<過去のシンポジウム・フォーラムテーマ>

- ・東南アジア諸国と共に歩む
—多様な文化遺産の継承と活用—
- ・世界遺産としてのシルクロード
—日本による文化遺産国際協力の軌跡—
- ・世界遺産の未来
—文化遺産の保護と日本の国際協力—
- ・さまよえる文化遺産
—文化財不法輸出入等禁止条約10年—



コンソーシアム各種報告書



平成27年度 事業報告（案）

I. コンソーシアムの企画・運営

- ・ 運営委員会の開催（10月と3月）
- ・ 総会の開催（3月）
- ・ 分科会の開催
- ・ 作業部会(ワーキング・グループ)の開催

II. 情報共有と情報発信

- ・ シンポジウムの開催
- ・ 研究会の開催
- ・ 会員向けメールサービスの拡充
- ・ 会員専用のコミュニティ・サイトの運営
- ・ ウェブサイトでのコンソーシアム広報活動
- ・ 印刷物でのコンソーシアム紹介及び広報活動
- ・ 若手専門家等に対する情報発信

III. 文化遺産国際協力に関することから

- ・ 国際協力支援側諸国の活動実態調査



アセアン+3文化遺産フォーラム2015（平成27年12月13日）

「東南アジア諸国と共に歩む－多様な文化遺産の継承と活用」

於：東京国立博物館 平成館大講堂



JCIC-Heritage

研究会 (2回開催)

・第17回研究会

国際セミナー「危機の中の文化遺産」
(平成27年11月5日)

・第18回研究会

「文化遺産保護の国際動向」
(平成28年3月3日)



会員向けメールサービスの拡充

会員からのお知らせ

【JCIC-Heritage】 コンソーシアムニュース VOL.181 <2016/02/04>

JCIC-Heritage <consortium@tobunken.go.jp>
To コンソーシアムメールニュース, Bcc: Kaori, Bcc: kariyayuga

2016/02/04 JCIC-Heritage News

文化遺産国際協力コンソーシアム メールニュース
<http://www.jcic-heritage.jp/top.html>
2016年02月04日 VOL.181

このメールは、文化遺産国際協力コンソーシアムに入会されている方を対象にお送りしています。

文化遺産国際協力コンソーシアム会員の皆様、

平素は文化遺産国際協力コンソーシアムにご協力いただきまして、誠にありがとうございます。メールニュース第181号をお送りします。

2週間に1回程度、文化遺産国際協力に関するニュースなどをお送りします。

—CONTENTS—

- 事務局からのお知らせ
 - 【1】第18回研究会「文化遺産保護の国際動向」を開催します。
- 会員からの情報／催し物のお知らせ
 - 【1】「2016年世界遺産の管理と保全ワークショップ」を開催します。

■事務局からのお知らせ

【1】第18回研究会「文化遺産保護の国際動向」を開催します。

当コンソーシアムでは、研究会を以下の要領で開催します。
参加を希望される方は、下記申込フォームより申し込み下さい。
<https://www.jcic-heritage.jp/form/form.cgi>

- 名称：第18回研究会「文化遺産保護の国際動向」
- 日程：2016年3月8日(木) 13:40-17:00
- 参加費：無料
- 定員：110名
- 会場：東京文化財研究所 地階セミナー室
- アクセス：〒110-8713 東京都台東区上野公園13-43
<http://www.tobunken.go.jp/japanese/saivo/map.html>

●概要：
文化遺産国際協力コンソーシアムでは、年に1回「文化遺産保護の国際動向」と題し、文化遺産保護に関わる最新情報を共有する研究会を開催しています。
第1部では、基調講演に文化庁の青柳正規長官をお迎えし、2016年8月にコンソーシアム設立10周年を迎えるにあたり、我が国の文化遺産保護の国際貢献について一度考える機会としたいと思います。第2部では日本による国際貢献の最新の事例として、2015年10月に福岡で開催された国際イコモス年次総会と、2015年12月にレバノンのベイルートで開催されたシリア考古学会議についてご報告いただきます。

■会員からの情報／催し物のお知らせ

【1】「2016年世界遺産の管理と保全ワークショップ」を開催します。

国連ユニタール（UNITAR）広島事務所から以下の案内をいただきました

- 名称：2016年世界遺産の管理と保全ワークショップ
The Management and Conservation of World Heritage Sites
2016 Workshop (World Heritage Nominations: Justification for Inscription)
- 日程：2016年4月18日-4月22日
- 参加費：1,300米ドル（宿泊費、ワークショップ費込）
- 場所：広島
- 内容：添付資料参照
- 使用言語：英語
- 定員：30名
- 申込：下記登録専用サイトから申込
<http://www.unitar.org/event/world-heritage-nominations-justification-inscription>
※提出締切：2016年3月7日（月）
- 問合せ先：国連ユニタール広島事務所 Mr. Berin McKenzie
E-mail: berin.mckenzie@unitar.org

詳細は添付ファイルをご覧ください。
[添付ファイル] UNITAR World Heritage Sites Programme (482KB)

#このメールは、文化遺産国際協力コンソーシアムの会員の方にお送りしています。
#配信の停止及び受信アドレスの変更をご希望の方は、お手数ですが consortium@tobunken.go.jp までご連絡下さい。
(本メールアドレスはメールニュース配信用です。返信できませんので、ご注意ください。)

文化遺産国際協力コンソーシアム メールニュース
■発行者：文化遺産国際協力コンソーシアム事務局
■お問い合わせ：consortium@tobunken.go.jp

(計25回配信予定)
* 臨時便を除く



JCIC-Heritage

情報共有と情報発信

会員専用コミュニティ・サイトの運営 情報データベースの運営



・ 2495件のプロジェクト
情報が登録されている。



文化遺産国際協力にすることがら

◆国際協力調査

国際協力支援側諸国の活動実態調査

・文化遺産保護分野における支援対象国のニーズを探る**協力相手国調査**、支援側諸国の対外的な活動実態を調べる**国際協力実態調査**の2つの調査タイプのうち、本年度は後者の調査を実施。

・対象国は欧州各国と中国・韓国。中国・韓国については、まず昨年12月に両国の事業従事者にヒアリングを行い、概要を調査した。

・韓国については、先月2月下旬に、東アジア・中央アジア分科会長をはじめとする調査チームが韓国に赴き、各行政・研究機関を訪問し聞き取り調査を行った。現在報告書を作成中。

・欧州各国の協力実態調査については、これまでコンソーシアムで実施してきた調査の成果をまとめ、これをアップデートする形で各国ごとの実態をまとめている。

平成28年度 事業計画（案）

1. 文化遺産国際協力コンソーシアムの会議の開催

- ・ 総会
- ・ 運営委員会
- ・ 分科会その他の会議の開催 等

2. 文化遺産国際協力に関する情報収集及び関係機関等への提供 並びに国内外への発信

（1）情報の収集及び提供

- ・ データベースシステムの改善、情報更新
- ・ 国際協力の推進に資する調査

（2）情報発信

- ・ リーフレット作成
- ・ ウェブサイト改善、活用
- ・ **コンソーシアム設立10周年記念シンポジウムの開催**

